

法 規 (1)

- [1] 免許人が無線設備の変更の工事をしようとするときは、総務省令で定める場合を除き、どのようにしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。
1. 変更の工事に係る図面を添えて届け出る。
 2. あらかじめ申請してその許可を受ける。
 3. 口頭でその旨を連絡する。
 4. その要旨を届け出る。
- [2] 次の文は、電波法施行規則の規定であるが、内に入れるべき字句を下の番号から選べ。
「無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証を していなければならない。」
1. 携帯
 2. 通信室に掲示
 3. 無線局に保管
 4. その無線局の免許人に預託
- [3] 無線従事者が電波法又はこれに基づく処分に違反したとき、総務大臣から受けることがある処分は、次のどれか。
1. 無線局の免許の取消し
 2. 1 年間の無線局の運用停止
 3. 無線従事者の免許の取消し
 4. 6 か月間の業務の従事停止
- [4] 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認められるとき、その無線局についてとられることがある措置は、次のどれか。
1. 免許を取り消される。
 2. 空中線の撤去を命ぜられる。
 3. 臨時に電波の発射の停止を命ぜられる。
 4. 周波数又は空中線電力の指定を変更される。
- [5] 固定局の無線業務日誌に記載する時刻は、次のどれによらなければならないか。
1. 中央標準時又は協定世界時
 2. 協定世界時
 3. 協定世界時。ただし、これによることが不便である場合は、中央標準時
 4. 中央標準時
- [6] 次の文は、時計、業務書類等の備付けに関する電波法の規定であるが、内に入れるべき字句を下の番号から選べ。
「無線局には、正確な時計及び 、無線業務日誌その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。」
1. 無線従事者免許証
 2. 無線検査簿
 3. 無線局免許申請書
 4. 免許状

法 規 (2)

〔7〕 無線局が、自局に対する呼出しであることが確実にない呼出しを受信したときは、次のどれによらなければならないか。

1. その呼出しが反復され、他のいずれの無線局も応答しないときは直ちに応答する。
2. その呼出しが反復され、かつ、自局に対する呼出しであることが確実に判明するまで応答しない。
3. その呼出しが数回反復されるまで応答しない。
4. 直ちに応答し、自局に対する呼出しであることを確かめる。

〔8〕 無線電信通信において、通報を確実に受信したときに送信することになっている略符号は、次のどれか。

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1. $\overline{\text{ラタ}}$ | 2. TU |
| 3. $\overline{\text{VA}}$ | 4. R |

〔9〕 無線電信通信において、呼出しに使用した電波と同一の電波により通報を送信する場合、順次送信する事項のうち省略することができるのは、次のどれか。

- | | |
|-----------------|----|
| 1. 相手局の呼出符号 | 1回 |
| 2. (1) 相手局の呼出符号 | 1回 |
| (2) DE | 1回 |
| 3. (1) 相手局の呼出符号 | 1回 |
| (2) DE | 1回 |
| (3) 自局の呼出符号 | 1回 |
| 4. (1) DE | 1回 |
| (2) 自局の呼出符号 | 1回 |

〔10〕 無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているものは、次のどれか。

1. 無線通信は、迅速に行うものとし、できる限り速い通信速度で行わなければならない。
2. 無線通信に使用する用語は、できる限り通常使用するものでなければならない。
3. 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
4. 無線通信には、略語以外の用語を使用してはならない。

〔11〕 無線局において、「OSO」を前置した呼出しを受信した場合は、応答する場合を除き、次のどれによらなければならないか。

1. 混信を与えるおそれのある電波の発射を停止して傍受する。
2. 直ちに付近の無線局に通報する。
3. 直ちに非常災害対策本部に通知する。
4. すべての電波の発射を停止する。

〔12〕 無線局は、自局の呼出しが他の既に行われている通信に混信を与える旨の通知を受けたときは、次のどれによらなければならないか。

1. 空中線電力をなるべく小さくして注意しながら呼出しを行う。
2. 中止の要請があるまで呼出しを反復する。
3. 混信の度合いが強いつきに限り、直ちにその呼出しを中止する。
4. 直ちにその呼出しを中止する。